

2026年度 看護職員 負担軽減計画表

項目・部署	分野	現状把握・問題点	対応策	改善計画	職員周知・掲示	実施状況の検討(%)	%
多職種からなる役割分担推進のための委員会又は会議(特に重要事項)	ウ・多職種からなる役割分担推進のための委員会又は会議	・管理者、病院長「診療部長兼務」、常勤医師(3名)、看護部長、事務長、病棟・外来主任、薬剤師、管理栄養士、画像診断室長、リハ室長、医事課主任、入院担当、入退院支援者 出席による「医師の負担軽減等推進委員会」を定期的に開催し、医師の負担軽減及び処遇改善の計画を策定し、取組状況について分析・評価を行っている	・「看護師の負担軽減等推進委員会」「衛生委員会」では、看護師の業務内容について精査し、負担の軽減に資する事項を随時チェックする ・超過勤務時間のチェックを行い、過重労働にならない環境作りを目指す ・電子カルテ導入後効率よくなるか検証	・定期的に委員会を開催し、各職種からの意見を吸い上げて業務負担の軽減を推進する ・電子カルテ導入後効率よくなるか検証 ・オンライン診療システム、音声入力システム導入予定 ・川内市医師会夜間救急当番年間件数削減依頼交渉	具体的な公開方法:院内の周知においては勤務表により、事前に周知に加え、毎朝の朝礼で勤務時間帯等で伝達・院内共有ネット環境・電子カルテ掲示板にて閲覧、患者等の周知、取り組みに対しての内容に関しては、1階受付・2,3階の病棟・4階リハに掲示	・上村病院看護職員の負担軽減等多職種からなる役割分担推進のための委員会開催(年2回以上18名出席) ・電子カルテ導入後効率よくなるか検証(病棟・外来・検査室・健診等)⇒外来・検査室効果が出ている。 ・健診システム導入済み、オンライン診療システム、音声入力システム、入院・検査・手術方法他説明支援動画・電子同意書導入(予算要求・行政補助金他) ・川内市医師会夜間救急当番年間件数削減依頼交渉⇒(夜間当番年24回→9回に削減)	80%
看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画(特に重要事項)	エ・看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画	「看護職員の負担の軽減及び処遇に資する計画」を策定し、達成項目について達成度のチェックを実施している	過年度の達成状況を踏まえ、当該年度の「看護職員の負担の軽減及び処遇に資する計画」を策定する	・過年度計画について、院内各部門・職種において達成項目の達成状況をチェックする。結果に基づき当該年度の計画を策定する ・策定された計画について、職員に対して周知を行う ・電子カルテ導入後効率よくなるか検証し掲示内容に加えていく ・オンライン診療システム、音声入力システム導入予定(予算要)	具体的な公開方法:院内の周知においては勤務表により、事前に周知に加え、毎朝の朝礼で勤務時間帯等で伝達・院内共有ネット環境・電子カルテ掲示板にて閲覧、患者等の周知、取り組みに対しての内容に関しては、1階受付・2,3階の病棟・4階リハに掲示	「上村病院看護職員の負担の軽減及び処遇に資する計画」を策定 ・電子カルテ導入後効率よくなるか検証し掲示内容に加えていく ・健診システム導入済み、オンライン診療システム、音声入力システム、入院・検査・手術方法他説明支援動画・電子同意書導入(予算要求・行政補助金他)	80%
看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する具体的な取組内容(特に重要事項)	ア・業務量の調整	時間外労働がなるべく発生しないよう、業務量の調整を行っている。	時間外労働が発生しないよう、業務量の調整を行う。	時間外労働が発生しないよう、勤務前に業務量を確認し、入院患者受け入れ等の業務を割り振る。(出退勤のシステム導入によりそうならないように設定済)	具体的な公開方法:院内の周知においては勤務表により、事前に周知に加え、毎朝の朝礼で勤務時間帯等で伝達・院内共有ネット環境・電子カルテ掲示板にて閲覧、患者等の周知、取り組みに対しての内容に関しては、1階受付・2,3階の病棟・4階リハに掲示	・時間外が発生しないよう、業務量を調整する。(出退勤のシステム導入によりそうならないように設定済) ・電子カルテ、健診システム導入後効率よくなるか検証	80%
看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する具体的な取組内容(特に重要事項)	キ・夜勤負担の軽減(月の夜勤回数の上限設定)	夜勤専従者の募集を常時行い、職員の希望も取り入れている。月の夜勤回数が4~5回(72時間)までであることをチェックしている。	夜勤専従者の募集を行う。職員の希望を取り入れる。月の夜勤回数の上限を設定し、チェックする。	夜勤専従者の募集を常時行い、職員希望も取り入れている。月の夜勤回数の上限を設定し、チェックしている。	具体的な公開方法:院内の周知においては勤務表により、事前に周知に加え、毎朝の朝礼で勤務時間帯等で伝達・院内共有ネット環境・電子カルテ掲示板にて閲覧、患者等の周知、取り組みに対しての内容に関しては、1階受付・2,3階の病棟・4階リハに掲示	夜勤専従者の増員夜勤回数の上限定	80%
新規追加事項 看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画(看護職員と他職種との業務分担)	イ・薬剤師	医薬品情報(Drug Information)管理・提供業務	DI業務の充実	DI情報を定期的に発行し情報提供を行うことにより業務支援する。	具体的な公開方法:院内の周知においては勤務表により、事前に周知に加え、毎朝の朝礼で勤務時間帯等で伝達・院内共有ネット環境・電子カルテ掲示板にて閲覧、患者等の周知、取り組みに対しての内容に関しては、1階受付・2,3階の病棟・4階リハに掲示	新規事項	
新規追加事項 看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画(看護職員と他職種との業務分担)	イ・臨床検査技師	PACSを更新した事により心電図の紙運用	体・微生物検査システム導入による業務改善	PACSを更新した事により心電図の紙運用廃止を行う。	具体的な公開方法:院内の周知においては勤務表により、事前に周知に加え、毎朝の朝礼で勤務時間帯等で伝達・院内共有ネット環境・電子カルテ掲示板にて閲覧、患者等の周知、取り組みに対しての内容に関しては、1階受付・2,3階の病棟・4階リハに掲示	新規事項	
新規追加事項 看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画(看護職員と他職種との業務分担)	イ・管理栄養士	入院時の食事の聞き取りに時間がかかる	管理栄養士による入院時の食事の聞き取り	管理栄養士が患者又は家族に食事の聞き取りを行うことで、入院時の食事提供が円滑に運べ、入院看護業務に専念できる。	具体的な公開方法:院内の周知においては勤務表により、事前に周知に加え、毎朝の朝礼で勤務時間帯等で伝達・院内共有ネット環境・電子カルテ掲示板にて閲覧、患者等の周知、取り組みに対しての内容に関しては、1階受付・2,3階の病棟・5階リハに掲示	新規事項	
新規追加事項 看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画(看護職員と他職種との業務分担)	イ・その他 外来患者多忙日に入院・検査・手術方法他説明に時間がかかる。	外来患者多忙日に入院・検査・手術方法他説明に時間がかかる。	入院・検査・手術方法他説明支援動画・電子同意書導入予定	入院・検査・手術方法他説明支援動画・電子同意書導入予定	具体的な公開方法:院内の周知においては勤務表により、事前に周知に加え、毎朝の朝礼で勤務時間帯等で伝達・院内共有ネット環境・電子カルテ掲示板にて閲覧、患者等の周知、取り組みに対しての内容に関しては、1階受付・2,3階の病棟・4階リハに掲示	新規導入予定	
達成削除事項	イ・薬剤師	病棟での内服薬の管理を看護師と協働で行っている	病棟での内服薬の管理を看護師と協働で行う	病棟での内服薬の管理を看護師と協働で行うために必要な情報を提供しあう	具体的な公開方法:院内の周知においては勤務表により、事前に周知に加え、毎朝の朝礼で勤務時間帯等で伝達・院内共有ネット環境・電子カルテ掲示板にて閲覧、患者等の周知、取り組みに対しての内容に関しては、1階受付・2,3階の病棟・4階リハに掲示	年度末に実施	100%
達成削除事項	イ・リハビリ職種(理学療法士、作業療法士)	リハビリ上における喀痰等の吸引の実施	理学療法士、作業療法士において喀痰等の吸引の必要がある場合、実施する	理学療法士、作業療法士において喀痰等の吸引マニュアル等を作成し以降継続的に出来るだけ実施している	具体的な公開方法:院内の周知においては勤務表により、事前に周知に加え、毎朝の朝礼で勤務時間帯等で伝達・院内共有ネット環境・電子カルテ掲示板にて閲覧、患者等の周知、取り組みに対しての内容に関しては、1階受付・2,3階の病棟・4階リハに掲示	年度末に実施	100%
達成削除事項	イ・臨床検査技師	翌日の病棟採血準備は22時のオーダー分までは検査技師が作成している。	22時以降でも依頼があれば協力して作成する。	わからない採血管があれば電話対応等で協力して準備する。	具体的な公開方法:院内の周知においては勤務表により、事前に周知に加え、毎朝の朝礼で勤務時間帯等で伝達・院内共有ネット環境・電子カルテ掲示板にて閲覧、患者等の周知、取り組みに対しての内容に関しては、1階受付・2,3階の病棟・4階リハに掲示	年度末に実施	100%
達成削除事項	イ・管理栄養士	・食事オーダー方法、食事内容の相談、嗜好調査依頼、栄養指導依頼等に対しその都度対応している。 ・管理栄養士は病棟担当を決め相談しやすい体制をとっている	食事オーダー方法、食事内容の相談、嗜好調査依頼、栄養指導依頼等に対しその都度対応する。	・情報を共有し連携を強化する。 ・電子カルテ導入後効率よくなるか検証	具体的な公開方法:院内の周知においては勤務表により、事前に周知に加え、毎朝の朝礼で勤務時間帯等で伝達・院内共有ネット環境・電子カルテ掲示板にて閲覧、患者等の周知、取り組みに対しての内容に関しては、1階受付・2,3階の病棟・4階リハに掲示	年度末に実施	100%